



2023年度 システム教育委員会 成果報告



一般社団法人 日本画像医療システム工業会 (JIRA)
医用画像システム部会 システム教育委員会 委員長 高野 博明

システム教育委員会の役割と活動

医用画像システム部会

当部会の目的

画像医療に関連する情報システム市場の健全な発展に寄与する。

活動内容

本委員会

画像医療情報システムの安全性・相互運用性・品質確保に関する標準規格・ガイドラインの策定と普及活動、さらには問題解決のための提言を国内外の関連団体と積極的に協調して推進する。

DICOM 委員会

会員企業を代表し DICOM 規格の国際会議のメンバーとして制定に参画、ならびに画像情報関連規格の検討および普及の推進。

セキュリティ委員会

セキュリティに関する国内外の規格 / ガイドライン等の制定への参画、その他関連情報の交換や検討および普及の推進。

モニタ診断システム委員会

モニタ診断普及のためのガイドラインや規格の作成およびモニタ品質管理に関する普及活動。

画像診断レポート委員会

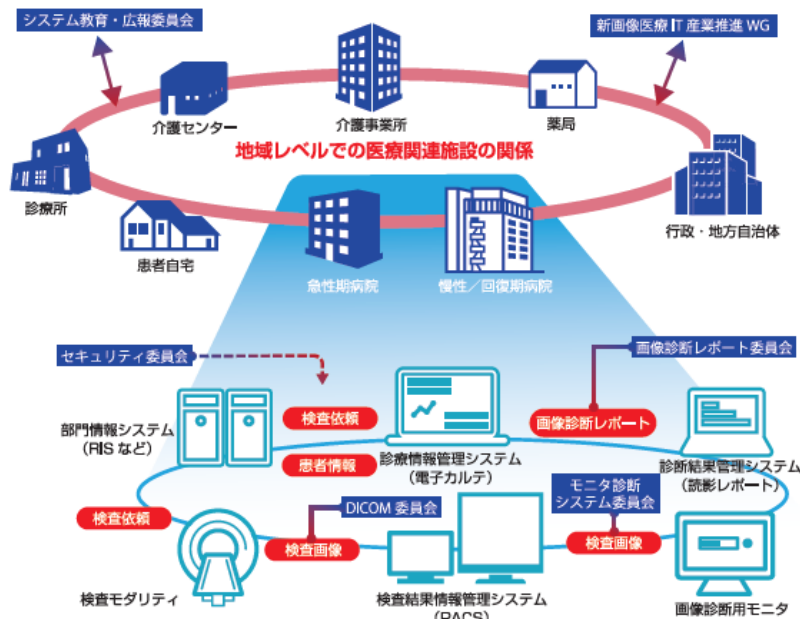
読影レポートの標準化やデータ移行の負担軽減を目的とするデータ交換手順の標準化、ツールの作成。

システム教育・広報委員会

各種展示、勉強会の企画立案と実行、広報紙による部会・委員会活動の広報活動。

新画像医療 IT 産業推進 WG

画像関連の医療情報の扱いに関する関連団体の情報収集や GHS の普及活動。

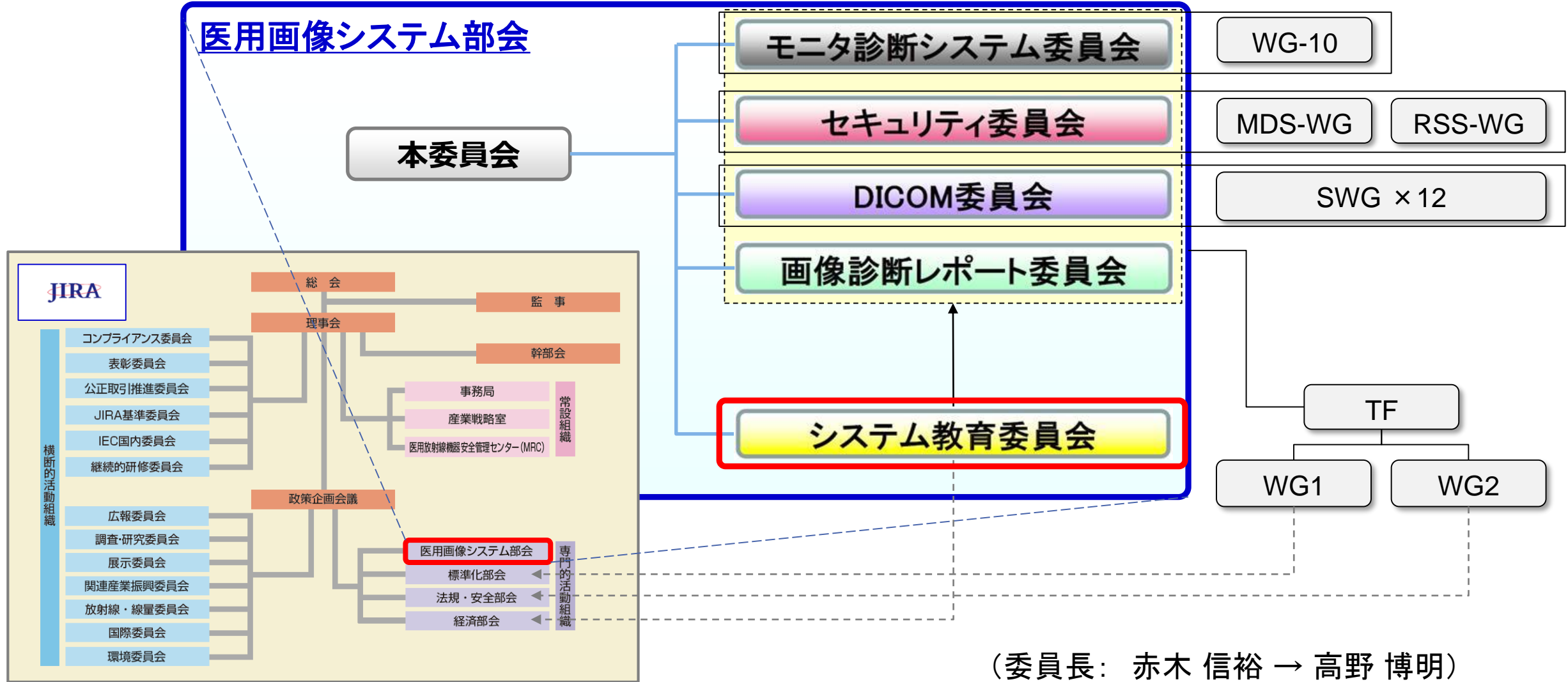


医用画像システム部会



システム教育委員会の役割と活動

■ 部会内での”システム教育委員会”の位置づけ



(委員長: 赤木 信裕 → 高野 博明)

システム教育委員会の2023年度活動計画

- (1) 医用画像システム部会の教育・広報活動として、**ホームページ運用**を担当する。
- (2) ITEM2023 Webページにおいて、医用画像システム部会関連の運営準備に協力する。
 - ・医用画像システム部会の**活動紹介動画**の作成
 - ・部会本委員会、各委員会関連の**広告・パンフレット(電子版)**の掲載
 - ・IHE等、関係諸団体の活動に関する**パンフレット(電子版)**の配布
- (3) 「DATA BOOK 2024 図表で見る画像医療システム産業」継続発行の加筆修正。
- (4) 部会内委員会主催セミナー・勉強会等のWeb開催を支援する。
- (5) **夏の勉強会、成果報告会/特別講演会**をWebにて開催する。

- ・ ITEMの広報活動⇒JIRA Webinarへ”トピックス”の提供
- ・ 部会各委員会の広報活動
- ・ ホームページ運営

- ・ 定例の会員向け・関係団体向け勉強会・セミナー開催の支援
【2023年度に開催に関与したセミナー】
 - JART-JIRAモニタ精度管理セミナー(モニタ診断システム委員会)
 - 夏の勉強会(セキュリティ委員会)
 - 政策企画会議、特定テーマ(画像診断レポート委員会)
 - 成果報告会/特別講演会(医用画像システム部会 各委員会)
 - DICOMセミナー(DICOM委員会、SWG-07への参加)

- ITEMの広報活動⇒JIRA Webinarへ”トピックス”の提供

<p>ITEM2023 JIRA Webinar (VOD)</p> <p>画像医療ICTにおける相互運用性とセキュリティ</p>	<p>ITEM2023 JIRA Webinar (VOD)</p> <p>デジタルヘルス ～医療の質向上～</p>
<p>ITEM2023 JIRA Webinar (VOD)</p> <p>医療情報の安全管理に関するガイドライン</p> <p>医用画像システム部会</p>	<p>DICOM</p> <p>DICOM適合性宣言書 (DICOM Conformance Statement) が 変わりました</p> <p>一般社団法人 日本画像医療システム工業会 医用画像システム部会 DICOM委員</p>

部会各委員会の広報活動

概要は、JIRA会報の部会活動報告に掲載し、ホームページにて公開

JIRA	2023.6 No.216
会 報	
2022年度の事業活動報告	
目 次	
会長挨拶	会長
工業会活動	
2022年度 JIRA 活動の総括	
1. 産業戦略室	
2. 法規・安全部会	
3. 経済部会	
4. 標準化部会	
5. 医用画像システム部会	
6. 国際委員会	
7. 環境委員会	
8. 放射線・線量委員会	
9. 調査・研究委員会	
10. 展示委員会	
11. 関連産業振興委員会	
12. 広報委員会	
13. コンプライアンス委員会	
14. 公正取引推進委員会	
15. 医用放射線機器安全管理センター	
16. 継続的研修委員会	
17. JIRA 基準委員会	
18. IEC 国内委員会	
19. 表彰委員会	
JIRA 会員一覧	
編集後記	

「2022年度JIRA活動の総括 5. 医用画像システム部会」活動報告掲載

目 次

会長挨拶

工業会活動

2022年度 JIRA 活動の総括

- 産業戦略室
- 法規・安全部会
- 経済部会
- 標準化部会
- 医用画像システム部会**
- 国際委員会
- 環境委員会
- 放射線・線量委員会
- 調査・研究委員会

2.5 システム教育委員会（委員長 赤木 信裕）

- 医用画像システム部会の教育・広報活動としてホームページ運用担当
- Web-ITEM2022の医用画像システム部会紹介ページの準備
- 「DATA BOOK 2023 図表で見る画像医療システム産業」の継続発行における加筆修正等
- 医用画像システム部会内委員会主催セミナー・勉強会等の開催支援
 - 夏の勉強会（2022年8月30日、オンライン）、申込：80名超
 - 講演1「PACS障害の経験と対応」臨床対応と技術対応
 - 臨床対応編 講師：地方独立行政法人市立東大阪医療センター 医療技術局局長 倉橋 達人先生
 - 技術対応編 講師：地方独立行政法人市立東大阪医療センター 経営企画課主査 鈴木 淳先生
 - 講演2「高度化するサイバー脅威と医療システムに求められるセキュリティ対策の考え方」
講師：トレンドマイクロ株式会社 公共ビジネス本部 シニアマネージャー 松山 征嗣先生
 - 医用画像システム部会成果報告会/特別講演会（2023年3月3日、オンライン）
 - 部会長、各委員長による2022年度成果報告
 - 特別講演
「集束超音波治療の現状と今後の展望」
講演者：国立病院機構宮城病院 脳神経外科部長 仁村 太郎先生

JIRAトピックス 7月号 (JSRT学会雑誌への寄稿)

「医用画像システム部会の活動と デジタルヘルス推進」

今後も、ホームページ運営、勉強会開催、
JIRA会報やJSRT学会誌等を通じて、
部会の活動を広く紹介していく。



部会各委員会の広報活動

次年度に向けた活動方針を、JIRA会報のトピックスに掲載し、ホームページにて公開

「画像医療システムにおけるデジタルヘルス・イノベーションの推進」掲載

JIRA		2024.1 No.217
会報		
目次		
2024年 年頭所感		
論風		
トピックス		
画像医療システムにおけるデジタルヘルス・イノベーションの推進		
中性子捕捉療法用 ME 機器 (Neutron Capture Therapy Medical Electrical Equipment) の国際規格開発について		
SaMD 審査期間短縮の取組み		
放射線治療委員会の活動紹介		
2023年度画像医療システムの国内市場動向 (2023年度第2四半期、上期)		
国際展開上の課題への取組		
人		
JIRA との出会い		
JIRC2024・第127回日本医学物理学会学術大会へのお誘い		
窓		
医門賞への挑戦と教訓		
会員情報		
1	新理事紹介	・コニカミノルタ
2	新委員会紹介	・有田
3	新会員紹介	・株式会社ネッ
3	JIRA 会員一覧	
編集後記		

目次

2024年 年頭所感
論風
第83回日本医学放射線学会総会開催
トピックス
画像医療システムにおけるデジタルヘルス・イノベーションの推進
中性子捕捉療法用 ME 機器 (Neutron Capture Therapy Medical Electrical Equipment) の国際規格開発について
SaMD 審査期間短縮の取組み
——クラス III SaMD の認証基準化
放射線治療委員会の活動紹介
2023年度画像医療システムの国内市場動向 (2023年度第2四半期、上期)
国際展開上の課題への取組

◆ トピックス ◆

画像医療システムにおけるデジタルヘルス・イノベーションの推進



医用画像システム部会
部会長 高野 博明 (コニカミノルタ株式会社)

1. はじめに

JIRAでは、社会環境や世界情勢の変化、人工知能 (AI) をはじめとする医療に関する技術の進展状況を見据え、2019年4月、「JIRA画像医療システム産業ビジョン2025 (以下、JIRAビジョン2025)」¹⁾ を策定した。JIRA医用画像システム部会は、「JIRAビジョン2025」の実現を指針として、JIRA内外の組織との連携体制、新たな医療産業分野との連動を強化しながら、医療情報の利活用の促進、AIの社会実装拡大に向けた環境整備による「医療の質・安全性の向上と医療機器産業拡大への貢献」、「海外市場での競争力確保に向けた標準化」を中期計画とした。

近年、少子高齢化が進む日本では、医療費の削減が喫緊の課題となっており、疾病や介護の予防にデジタル技術を活用し、医療給付費を抑制しつつ健康寿命の延伸を達成する「デジタルヘルス (ケア)」への期待が高まっている。当部会では、最新のデジタル技術を活用したヘルスケアイノベーションによる「医療の質向上」、「将来の医療現場への貢献」を目指し、「画像医療システムにおけるデジタルヘルスの推進に向けた取り組み」を2023年度の重要課題とした。

一方、ICT (Information and Communication Technology) を活用した健康管理・診療サービスの提供や、健康・医療・介護領域のビッグデータを集約したプラットフォームを構築するデータヘルス改革が進められている。2020年7月~2022年9月までの期間は、データヘルス集中改革として、3つのACTIONプランへの取り組みが進められた。また、令和4年度の診療報酬改

JIRAホームページ(医用画像システム部会)での資料公開

<http://www.jira-net.or.jp/commission/system/index.html>

夏の勉強会(2019.09.13)

■夏の勉強会

2019年度 夏の勉強会

医用システム部会恒例の夏の勉強会を開催しました。今年は放射線科技師を主人公にして 大きな話題を集めたテレビ番組「ラジエーションハウス」に関係された3名の医療関係者の方に、番組の裏話だけでなく、番組内で紹介された最新技術等についてのご講演をお願いしました。盛りだくさんのご講演で、会場からの質問など最後まで盛況となりました。

日時：2019年9月13日 開場13:00 開演13:30-17:00
場所：JIRA会議室（飯田橋）、および 関西サテライト（弁天町）
テーマ：「ラジエーションハウス」 - Future of Radiation House -
- ここに写真を武器に命を救おうとする者たちがいる。 -



五月女先生



中村先生



吉川先生



高野部会長



東京会場

特別講演会(2022.03.03)

■2021年度医用画像システム部会成果報告会及び特別講演会

2021年度医用画像システム部会成果報告会及び特別講演会を開催しました。

恒例の上記報告会及び特別講演会を2022年3月3日にウェビナー形式で開催しました。
第1部は部会長および各委員長の今年度の成果報告を、第2部では雑誌やテレビで大きな話題となったRadiationHouseの監修に携わった福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科准教授 五月女康作先生にこの作品にまつわるいろいろなお話を頂きました。本年もコロナ対策で集合セミナーは実施できませんでしたが、パネリストや聴視者のご協力もありスムーズな発表と多くの質問で無事終了しました。

■プログラム

1. 医用システム部会 成果報告会
 - (1) 部会長挨拶・報告 (高野部会長)
 - (2) モニタ診断システム委員会 (前田委員長)
 - (3) セキュリティ委員会 (堀野委員長)
 - (4) DICOM委員会 (中野委員長)
 - (5) 画像診断レポート委員会 (原委員長)
 - (6) システム教育委員会 (櫻井委員長)
2. 特別講演会
「ラジエーションハウス ～はじまりから劇場版までのキセキ～」
漫画「ラジエーションハウス」監修 TVドラマ「ラジエーションハウス」スーパーバイザー
福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科 准教授 五月女 康作 先生
(なお、先生の御発表は著作権その他の理由から当日提示に限らせていただきます)

質疑応答
閉会の挨拶

JIRAホームページ(医用画像システム部会)での資料公開

<http://www.jira-net.or.jp/commission/system/index.html>

システム教育委員会

■夏の勉強会

2022年度 夏の勉強会

医用システム部会は恒例の夏の勉強会を2022/08/30(月)開催。今年度はコロナの影響がまだ残る中、事前申し込みは少ないが、メインテーマは医療機関におけるサイバー攻撃の経験豊富な倉橋先生と鈴木先生の現場からの経験に基づき、質疑応答も盛んにおこなわれました。

1. 日 時：2022年8月30日(月) 14:00～16:30
2. テーマ：医療機関におけるサイバー攻撃の経験

■プログラム

1. (1) 14:00～14:10 開会挨拶
日本画像医療システム工業会 医用画像システム部会 高野 博明
2. (2) 14:10～14:40 「工業会でのサイバーセキュリティ対策活動」
日本画像医療システム工業会 医用画像システム部会 セキュリティ委員会委員長 堀野 誠人
3. (3) 14:40～15:40 「PACS障害の経験と対応」臨床対応と技術対応
①臨床対応編 地方独立行政法人市立東大阪医療センター 医療技術局局長 倉橋 達人 先生
②技術対応編 地方独立行政法人市立東大阪医療センター 経営企画課主査 鈴木 淳 先生

■プログラム

1. (1) 14:00～14:10 開会挨拶
日本画像医療システム工業会 医用画像システム部会 高野 博明
2. (2) 14:10～14:40 「工業会でのサイバーセキュリティ対策活動」
日本画像医療システム工業会 医用画像システム部会 セキュリティ委員会委員長 堀野 誠人
3. (3) 14:40～15:40 「PACS障害の経験と対応」臨床対応と技術対応
①臨床対応編 地方独立行政法人市立東大阪医療センター 医療技術局局長 倉橋 達人 先生
②技術対応編 地方独立行政法人市立東大阪医療センター 経営企画課主査 鈴木 淳 先生
4. (4) 15:40～15:50 休憩
5. (5) 15:50～16:30 「高度化するサイバー脅威と医療システムに求められるセキュリティ対策の考え方」
トレンドマイクロ株式会社 公共ビジネス本部 シニアマネージャー 松山 征嗣 先生
6. (6) 16:30～ 閉会挨拶
医用画像システム部会 システム教育委員会 赤木 信裕

2023年度システム教育委員会の具体的な活動内容

- ・ ITEMの広報活動⇒JIRAウェブブースへ電子版パンフレット提供
- ・ 部会各委員会の広報活動
- ・ ホームページ運営

- ・ **定例の会員向け・関係団体向け勉強会・セミナー開催の支援**
【2023年度に開催に関与したセミナー】
 - JART-JIRAモニタ精度管理セミナー(モニタ診断システム委員会)
 - 夏の勉強会(セキュリティ委員会)
 - 政策企画会議、特定テーマ(画像診断レポート委員会)
 - 成果報告会/特別講演会(医用画像システム部会 各委員会)
 - DICOMセミナー(DICOM委員会、SWG-07への参加)

- ・ 第9回JART-JIRA モニタ精度管理セミナー(6月17日):
 - コロナ禍によるブランクを経て、昨年度に続き対面セミナーとして開催
 - 両団体の事務所移転に伴いEIZO(株)東京事業所にて開催
 - 感染防止対策のため参加人数を絞って開催(募集28名)
 - システム教育委員会は映像収録、感染対策などで開催支援
 1. 医用画像表示用モニタの特徴と品質管理の実態
公益社団法人 日本診療放射線技師会 理事 松田 恵雄 先生
 2. モニタ実機によるヒヤリハット体験
JIRA 医用画像システム部会モニタ診断システム委員会
 3. モニタの品質管理に関するガイドライン (JESRA X-0093*B-2017)の紹介
JIRA 医用画像システム部会モニタ診断システム委員会
 4. 病院での品質管理について
大船中央病院 放射線科 青木陽介 先生
 5. モニタの品質管理のデモンストレーション
JIRA 医用画像システム部会モニタ診断システム委員会

- ・ 夏の勉強会(8月21日):
 - 背景:ランサムウェアなどによる医療機関へのサイバー攻撃の増加
 - テーマ:医療機関におけるサイバーセキュリティ対策、AIの最新動向

■開催詳細

- I. 開催方法:Zoom Webinarによるリモート開催
- II. 講師:全てJIRA事務所より参加
- III. 募集人数:90名
- IV. 参加対象:JIRA会員 および 非会員
- V. 参加費用:無料

【講演タイトル】

14:10～15:20

1. 「画像IT機器リモート管理(メンテナンス)のサイバーセキュリティ対策」
講師: 医用画像システム部会 RSS-WS主査 西田 慎一郎

2. 「医療施設のランサムウェア調査報告書に見る
医療施設に必要なセキュリティ対策とは」

①講師:
テクノブレイブ株式会社
事業戦略室 室長 植松 義之 先生

②講師:
テクノブレイブ株式会社
事業戦略室 セキュリティ技術担当 篠原 永年 先生

【講演タイトル】

15:30～16:30

3. 特別講演

「「画像診断支援」に大規模言語モデル について(2023年夏版)」

1: LLMのしくみ

2: 画像診断におけるマルチモーダルLLM

3: 画像診断支援LLMの開発プロセスの問題点

講師:

東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター
人工知能医学研究部 教授 中田 典生 先生

- ・ 10月度、政策企画会議 特定テーマ(10月25日):
 - テーマ:「放射線レポート既読管理について」
 - 講演時間:1時間(質疑応答含む)
 - 医用画像システム部会 画像診断レポート委員会 原委員長
- ・ 成果報告会/特別講演(本日)
 - 夏の勉強会に引き続き、セキュリティ対策をテーマに選定

(1)「製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示説明書」ガイドの概要
講演者: 医用画像システム部会 セキュリティ委員会 MDS-WG主査 下野 兼揮

(2)「リモートサービスセキュリティガイドラインとSDSサンプルの解説」
講演者: 医用画像システム部会 セキュリティ委員会 RSS-WG主査 西田 慎一郎

評価できる点

- ・ 他の部会や職能団体等と協力して情報提供ができたこと
- ・ サイバーセキュリティーなど、タイムリーなテーマを取り上げられたこと
- ・ VOD配信によって場所・時間を選ばず情報提供できたこと
- ・ 医療情報技師育成部会や医学雑誌社の協力を得て開催を周知でき、多くの医療現場の方に聴講いただけたこと

課題

- ・ Mナンバーを持つJIRA登録委員全体への広報の方法がないこと
- ・ 委員会を運営するための**人材確保**が重要課題
- ・ 委員会が開催するセミナーに**ガイドライン**が必要
- ・ セミナー支援以外の事業計画**活動の活性化** →活動の見直しが必要

■ 2024年度の活動計画

システム教育委員会 → 企画・広報委員会 へ名称変更

「部会活動計画の企画、成果の周知及び啓発」を活動方針とする。

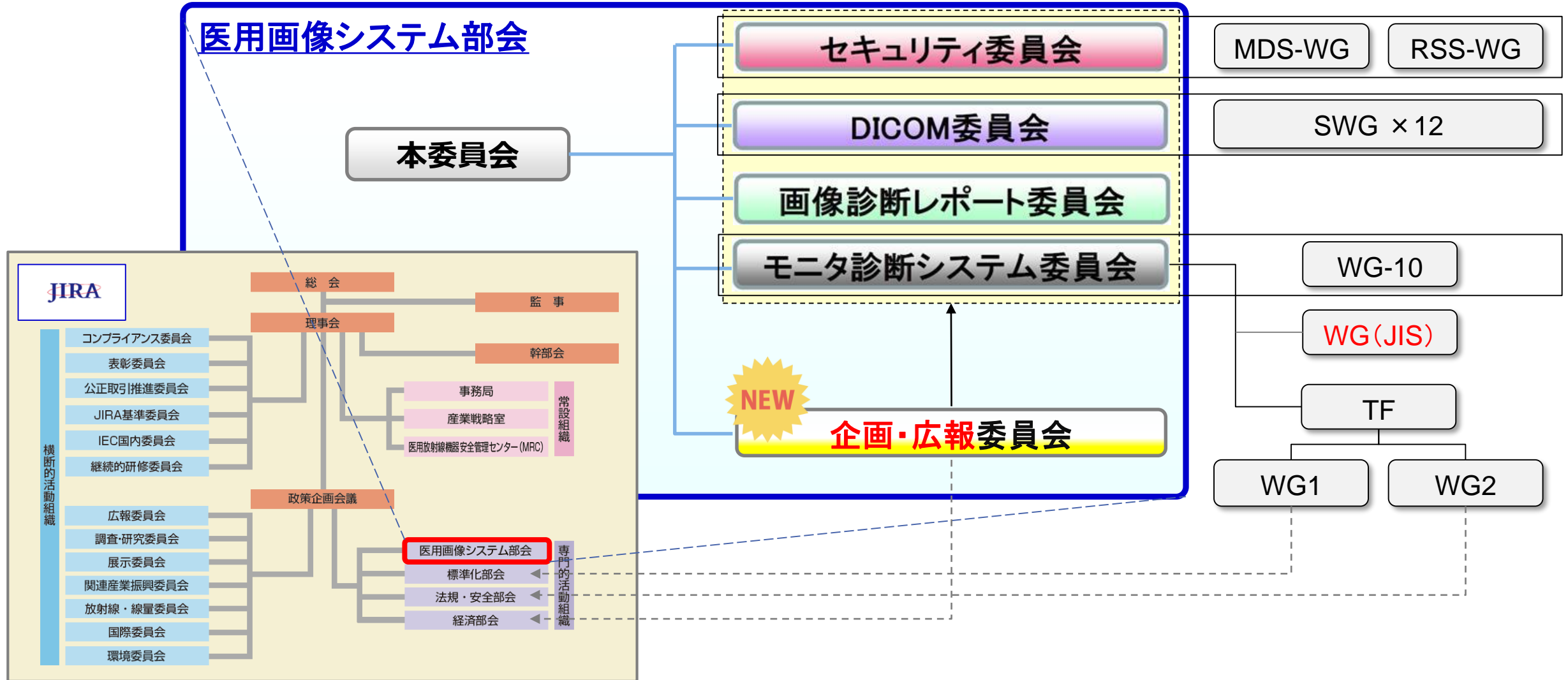
医用画像システム部会の**企画・広報担当**として、ホームページ運営、成果報告会の主催を主な活動とし、展示企画等にも協力する。また、JIRA会報やJSRT等の学会誌や民間医療情報誌等を通じて、医用画像システム部会の活動を広く紹介する。

2024年度の事業計画を以下に示す。

- (1) 部会の企画・広報活動としてホームページ運用、合同報告会、成果報告会を担当する。
- (2) ITEM2024において、医用画像システム部会関連の企画に協力する。**ただし、要請があれば。**
 - ・医用画像システム部会の活動紹介動画の作成
 - ・医用画像システム部会本委員会、各委員会関連の広告・パンフレット(電子版)の掲載
 - ・IHE等、関係諸団体の活動に関するパンフレット(電子版)の配布
- (3) 「DATA BOOK 2025 図表で見る画像医療システム産業」継続発行における加筆修正を担当する。

2024年度の活動計画

■ 2024年度の体制(参考)



御清聴 ありがとうございます。